

内臓脂肪(CT)検査をお受けになる方へ

CT検査における被ばく説明(同意書)

《検査の必要性》

CT検査は被ばくを伴いますが、疾病の早期発見には大きなメリットがあります。

《被ばくの影響》

放射線による症状や発がんの確率は、1度に受けた放射線の量が100ミリシーベルト(mSv)未満であれば、遺伝や生活習慣によるものと区別できないと言われています。

通常のCT検査は100ミリシーベルトを超えることがないので安心して検査を受けていただけます。

《医療被ばく低減に関する取り組み》

当院では定期的にCT装置の点検を行い、可能な限り低い被ばく線量で検査ができるよう診療放射線技師が管理しています。

《検査別放射線量》

検査名	放射線量(平均値)
肺ドック	1.5 mSv
内臓脂肪	0.2 mSv

※通常の生活で年間に受ける自然放射線量 2.1 mSv

内臓脂肪(CT)検査同意書

私は、CT検査を受けるにあたり、検査の必要性や、被ばくの影響について十分理解した上で、検査実施に同意いたします。

年 月 日

本人署名

JA高知健診センター
(JA高知病院放射線科)